第36期 中間報告書

（2013.3.1 ～ 2013.8.31）

イオン北海道株式会社

（証券コード 7512）

ごあいさつ

厳しい状況が予想される下期も、「4つの柱」に基づく施策を着実に実施し、通期業績予想数値を確実に達成させてまいります。

代表取締役社長　**柴田祐司**

平素より当社経営に関して格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当第2四半期累計期間の北海道における経済環境は、公共事業の増加や観光客増加などで回復の動きがみられるものの、電気料金値上げや中東情勢不安による原油高などもあり、消費マインドの低迷からまだ完全には脱却できていない状況にあります。

このような経済環境の下、当期間における当社の業績は、売上高770億72百万円、営業利益39億66百万円、経常利益38億18百万円、四半期純利益は22億97百万円となり、増収増益の決算となりました。また、営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては第2四半期累計としては上場以来過去最高益となりました。

当社は、「北海道No.1の信頼される企業」をビジョンに掲げ、中期指針である「収益力の向上」、「成長戦略の構築」、「北海道に根ざした店づくり」、「次代を担う人材育成」を柱に営業活動に取り組んでおります。

「収益力の向上」では、売上の拡大を図るべく質・量ともに前事業年度以上の店舗活性化を積極的に取り組んでまいりました。当期は特にショッピングセンター内のテナントの入れ替えや再配置、食品フロアの売り場強化など大型活性化に取り組み、テナントでは地元人気店や全国人気チェーン店などを導入し、大きな集客効果をもたらしました。また、食品売り場においては、イオングループのシナジーを活かし、オリジン弁当のノウハウを取り入れた惣菜の量り売りバイキングを導入し、多くのお客さまから好評をいただき、札幌市内4店舗に導入しております。

「成長戦略の構築」では、イオンの小型スーパー「まいばすけっと」の北海道での展開を進めております。昨年度は7店舗を開店いたしましたが、今上期では4月の1店舗の開店にとどめ、さらなる効率改善のためのオペレーションの見直しや他店舗展開を可能とする教育体制の強化に優先して取り組みました。体制を構築し終えた下期からは出店を再開し、9月には3店舗をオープンし11店舗で運営しています。今後も事業の運営状況を検証しながら店舗展開を着実に進めてまいります。また、新たな専門店事業として北海道初となるイオンバイクを3月に北見と札幌平岡にオープン致しました。今後も専門店事業としての多彩な商品と充実したサービスを提供してまいります。

「北海道に根ざした店づくり」では、地域のお子さまとともに環境学習を行うエコクラブ「イオンチアーズクラブ」をGMS全店舗で発足し、日々活動を行っており、本年より新たに地域の皆さまの健康を願い、社会貢献活動の一環として野菜・果物の摂取促進につながる食育活動を行っております。8月には道内3店舗の近郊の小学校や幼稚園などに通うお子さまを対象に、農林水産省の食育事業である「食育体験ツアー」、「たべるのおはなし教室」を実施いたしました。今後も地域のお子さまたちやお客さまの健康のために、地域のお客さまに一番身近なお店として、このように「食」に関わる様々な情報提供や活動についても積極的に進めてまいります。

「次代を担う人材育成」では、まいばすけっとの出店拡大やサイクルなどの専門店化の推進など成長戦略を支える人材育成を強化するとともに、GMSの店舗でも基礎知識向上のための研修に加えてお取引先さまに協力していただき、ショップなどの専門性の高い売場の人材に対しても販売・技術のレベルアップを図っております。

2013年度の業績見通しにつきましては売上高1,543億円、営業利益81億円、経常利益77億円、当期純利益31億円を予想しております。

下期については、原油の高騰や円安に伴う原材料の値上げ等に伴う商品原価の上昇や、電気料金の値上げ、全国的にも最も低い最低賃金のアップに伴う人件費の増大等により大幅な経費増が見込まれますが、現在取り組んでいる施策を着実に実行し、この業績数値を確実に達成させてまいりたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

2013年11月

第36期 第2四半期決算のご報告

四半期決算総括

（単位：百万円）

	第36期 2013.3.1～2013.8.31	第35期 2012.3.1～2012.8.31
売上高	77,072	74,854
営業利益	3,966	3,500
経常利益	3,818	3,272
四半期純利益	2,297	1,817
総資産	88,125	89,315
純資産	24,390	21,598

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期部門別売上高

（単位：百万円）

	第36期 2013.3.1～2013.8.31	第35期 2012.3.1～2012.8.31
衣料	17,064	17,121
食品	41,840	39,862
住居余暇	16,482	16,112
その他	1,684	1,758
合計	77,072	74,854

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業全般の状況

当期間は、売上高の増加により営業利益を大きく改善することができました。特に、食品フロアなどの大型活性化の取り組みや、早朝営業の効果などにより、既存店客数前年比は101.4%、既存店売上高前年比も102.4%とすべての月にわたって前年実績を上回ることができました。特に食品の増収が全体の売上の増加に大きく寄与しております。

衣料部門では、春先の低温の影響もあり、第1四半期の売上高前年比は97.9%と不振でありました。第2四半期で挽回したものの、第2四半期累計では売上高前年比99.7%と前年割れとなりました。特に第1四半期にインナーと紳士衣料で苦戦し、インナーでの不振在庫の処理や紳士衣料での春物処分の遅れ等による売価変更の増加などにより、衣料全体の売上利益率は0.2%悪化し、売上総利益額で前年比99.2%となりました。

食品部門では、イオン札幌桑園店などの食品売場の活性化の実施や早朝営業効果等により第2四半期累計の売上高前年比は105.0%と伸長することが出来ました。特に「食の作らない化」のニーズにも対応すべく、冷凍食品売場を強化し5店舗でリーチインケースを導入することにより品揃えを拡大した結果、冷凍食品は全店計で売上高前年比117.6%と大きく伸長させることが出来ました。また、値入率改善により、既存店では売上総利益率は0.1ポイント改善したものの、DS店舗の影響により食品全体の売上総利益率は前年同率となっております。これにより、売上総利益額では前年比104.9%となりました。

住居余暇部門では、4月の雪解けの遅れの影響によりサイクルが売上前年比91.1%と苦戦するものの、風邪薬等の医薬品の好調もありヘルス部門で売上高前年比108.8%と大きく伸長するなどH&BC部門で売上高前年比103.7%と牽引し、住居余暇計の売上高は前年比102.3%となりました。また利益率の高いヘルス部門が大きく売上を伸ばしたことに加え、ヘルス部門自体も値入率の改善により0.8ポイント売上総利益率を改善させたことから、住居余暇全体の売上高総利益率も0.3ポイントの改善となり、売上総利益額では前年比103.6%となりました。

販売費及び一般管理費については、販促費、設備費で削減が図れたものの、最低賃金の改定による単価アップ等でパート社員給料が増加するなど人件費の増加の影響が大きく、販売費及び一般管理費計では前年を0.7%、1億84百万円の超過となりました。

結果、営業利益は前年を13.3%、4億66百万円上回る39億66百万円となり、営業利益率は5.1%となりました。

財務諸表（概要）

四半期損益計算書

（単位：百万円）

	第36期 2013.3.1～2013.8.31	第35期 2012.3.1～2012.8.31
売上高	77,072	74,854
売上原価	56,374	54,695
売上総利益	20,697	20,158
その他の営業収入	8,123	8,012
営業総利益	28,821	28,171
販売費及び一般管理費	24,854	24,671
営業利益	3,966	3,500
営業外収益	127	94
営業外費用	275	322
経常利益	3,818	3,272
特別利益	105	—
特別損失	147	175
税引前四半期純利益	3,777	3,097
法人税、住民税及び事業税	1,305	1,165
法人税等調整額	174	114
四半期純利益	2,297	1,817

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	第36期 2013.3.1～2013.8.31	第35期 2012.3.1～2012.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,149	3,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,294	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,274	△3,072
現金及び現金同等物の減少額	579	△289
現金及び現金同等物の期首残高	2,549	2,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,128	2,456

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	第36期 2013.8.31	第35期 2013.2.28
【資産の部】		
流動資産	20,865	21,287
うち商品	11,190	12,058
固定資産	67,259	67,385
有形固定資産	54,378	54,250
無形固定資産	1,295	1,370
投資その他の資産	11,585	11,763
資産合計	88,125	88,672
【負債の部】		
流動負債	42,628	41,993
固定負債	21,106	23,902
負債合計	63,734	65,895
【純資産の部】		
株主資本	24,343	22,764
資本金	6,100	6,100
資本剰余金	13,354	13,354
利益剰余金	6,479	4,913
自己株式	△1,591	△1,604
評価・換算差額等	△18	△30
新株予約権	65	42
純資産合計	24,390	22,776
負債及び純資産合計	88,125	88,672

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報（証券コード7512）

会社概要（2013年8月31日現在）

社名	イオン北海道株式会社
代表者	柴田 祐司（代表取締役社長）
本社	〒003-8630　札幌市白石区本通21丁目南1-10
事業内容	総合小売業
設立	1978年4月5日
資本金	61億43万円
上場金融商品取引所（証券コード 7512）	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
決算期	2月末日
売上高	1,520億円（2012年3月～2013年2月）
店舗数	40店舗
従業員数	6,973名
主要取引銀行	みずほ銀行、北洋銀行、三井住友信託銀行、北海道銀行 農林中央金庫、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行 北陸銀行

取締役・監査役（2013年8月31日現在）

代表取締役社長	柴　田　祐　司
取締役	天　廣　俊　彦
取締役	竹　垣　吉　彦
取締役	清　水　信　昭
取締役	橋　本　　優
取締役	山　田　重　道
取締役	濵　田　和　成
常勤監査役	上　西　啓　一
監査役	吉　岡　征　雄
監査役	名古屋　則　雄
監査役	渡　部　ま　き

注：吉岡征雄氏、名古屋則雄氏、渡部まき氏は社外監査役であります。

執行役員（2013年9月1日現在）

常務執行役員	天　廣　俊　彦	管理本部長 企業倫理担当役員
執行役員	竹　垣　吉　彦	総合企画本部長
執行役員	山　田　重　道	商品本部長
執行役員	清　水　信　昭	管理本部総務部長
執行役員	橋　本　　優	営業本部長
執行役員	田　中　史　之	営業本部第二事業部長
執行役員	松　川　陽　一	営業本部第三事業部長
執行役員	水　野　良　三	営業本部SC事業部長
執行役員	大　野　芳　高	総合企画本部環境・社会貢献部長
執行役員	熊　谷　一　弘	新規事業部長
執行役員	豊　田　和　宏	管理本部財務経理部長
執行役員	相　馬　仁　美	営業本部営業企画部長
執行役員	山　本　　治	営業本部第一事業部長 兼SuC事業部長

大株主（上位10社）（2013年8月31日現在）

株主名	持株数			持株比率
	普通株式	A種類株式	合計	
イオン株式会社	10,441,000株	24,500,000株	34,941,000株	63.7%
イオンリテール株式会社	5,604,720株		5,604,720株	10.2%
加藤産業株式会社	1,200,000株		1,200,000株	2.2%
イオン北海道従業員持株会	927,047株		927,047株	1.7%
株式会社北洋銀行	559,400株		559,400株	1.0%
総合商研株式会社	421,800株		421,800株	0.8%
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	380,000株		380,000株	0.7%
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST	339,700株		339,700株	0.6%
東洋水産株式会社	319,500株		319,500株	0.6%
モリリン株式会社	300,000株		300,000株	0.6%

注：持株比率の算定は、自己株式（2,806,356株）を除外して計算しております。

株主優待

2月末日の株主さまに、保有株式数に応じて株主優待券を贈呈致します。また500株以上保有の個人株主さまには、全国のイオングループ150店舗に開設している「イオンラウンジ」をご利用できるご利用カードを発行致します。

【株主優待券の贈呈】

年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈致します。

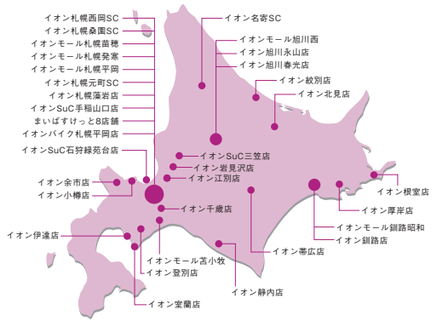
保有株式数	優待内容
100株 ～ 999株	100円券×　25枚＝　2,500円分
1,000株 ～ 1,999株	100円券×　50枚＝　5,000円分
2,000株以上	100円券×100枚＝10,000円分

【イオンラウンジのご利用】

お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ設置店舗にてカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。

有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限と致します。

店舗情報（2013年8月31日現在）



トピックス

イオン札幌桑園店食品ゾーンをリニューアル

当社では変化するお客さまのニーズに対応するため、積極的な店舗改装を実施しております。イオン札幌桑園店では、単身世帯や高齢世帯の増加に伴い「食の作らない化」が進んでいることを背景に、「必要な分だけ食べたい」、「バランスよく美味しい惣菜が食べたい」というニーズに応えるべく、惣菜売場を含め食品ゾーンを3月29日（金）にリニューアルオープン致しました。イオングループの弁当・総菜専門店「オリジン弁当」の量り売り惣菜のノウハウを取り入れた売場はお客さまから高評価をいただいており、7月24日（水）にイオン札幌西岡店、8月2日（金）にイオン札幌藻岩店においてもリニューアルオープンし、順次導入していく予定です。当社はこれからも、お客さまの変化するニーズに対応するべく、積極的な改装を実施してまいります。

まいばすけっと11店舗オープン

当社では、昨年の3月16日（金）オープンの1号店を皮切りに札幌市内で小型スーパー「まいばすけっと」を9月末までに11店舗オープン致しました。「まいばすけっと」は少子高齢化、人口の都市集中化を背景に、都市部の小商圏に対応した小型スーパーマーケットです。車を持たないお客さまや買い物にご苦労されているお客さまにも普段のお買いものなら十分にご満足いただける品揃えに努めており、お客さまからは徒歩で行けるスーパーができて大変便利だとご好評を頂いております。今後もより多くのお客さまの不便を解消できるよう店舗を拡大してまいります。

イオンバイクオープン

当社は、お客さまの健康志向の高まりから自転車、サイクル用品の需要が拡大している中、新たな専門店業態として北海道初となるイオンバイクを3月15日（金）に北見に、翌週23日（土）に札幌平岡にオープン致しました。道内では初の販売となるスポーツベビーカーなど、GMSサイクルショップでは扱うことのできないスポーツブランド車や人気のサイクル用品、ウェアなどの専門性の高い商品やサービスを提供しております。また、札幌平岡店では地域誌に掲載頂き、お客さまに広く認知していただいております。当社では今後も変化するお客さまに対応し、多彩な商品と充実したサービスを提供してまいります。

ネットスーパーセンター化

当社では、4月28日（日）に札幌市内店舗のネットスーパーをイオンSuC手稲山口店に集約し、「ネットで楽宅便センター」を開設致しました。イオンのネットスーパー「ネットで楽宅便」の配送地域は全道の約90%をカバーしており、売上、会員数ともに増加しております。このたびの札幌市内店舗のセンター化においては、イオンSuC手稲山口店に集約することで作業効率や配送効率の改善を図るとともに、作業スペースを拡大することで受注上限件数と配送の時間を拡大し、更なる売上増大が可能となりました。今後は衣料品、住居余暇商品の品ぞろえもさらに拡充し、よりお客さまにとって利用しやすいネットスーパーを展開してまいります。

ファイターズ公式スポンサー

当社は本年より北海道日本ハムファイターズの公式スポンサーとなりました。6月1日（土）にはイオンスペシャルマッチを開催し、各店舗でご応募いただいたお客さまを招待し、ベースランニングやファイターズガールとのダンスに参加して頂くなど、大いに楽しんで頂きました。また、ブースにおいてはトップバリュ商品のPRとして試食、試飲を実施致しました。ファイターズは各選手が地域のまちづくり・まちおこしに寄与する「市町村応援大使」を務めるなど地域に根ざした取り組みを積極的に行っております。当社も同じく地域密着を推進する企業として、地域貢献や、北海道のお客さまに楽しんで頂ける取り組みを今後も積極的に実施してまいります。

むかわ町イオンの森植樹を実施

6月22日（土）、イオングループでは「むかわ町イオンの森植樹」を実施致しました。2年目となる本年は地域の方々やチアーズクラブのお子さまたちを含めおよそ650名で地域に自生するトドマツやアカマツ、シラカンバやミズナラなど5,000本の植樹を行い、これによりむかわ町での植樹本数は10,000本となりました。イオングループでは店舗での植樹や海外植樹などを継続的に行っており、本年でグループ全体での累計植樹本数1,000万本を達成することとなりました。当社はイオングループの一員として、生物多様性の保全のため、これからも地域のお客さまとともに木を植え続けてまいります。

ほっかいどう遺産WAONの累計発行枚数が10万枚を突破

当社で2011年7月より発行しております「ほっかいどう遺産WAON」の累計発行枚数が10万枚を突破致しました。「ほっかいどう遺産WAON」はご利用金額の0.1％がNPO法人北海道遺産協議会を通じて北海道遺産の保全活動に役立てられます。2012年度の寄付金額は皆さまにご愛顧いただいた結果、およそ820万円となりました。この寄付金は「北限のブナ林の普及」や「アイヌ文化の啓蒙活動」など様々な北海道遺産の保全活動に活用されます。当社では今後も地域のお客さまとともに北海道の環境保全に取り組んでまいります。

5ADAY食育体験ツアーを実施

当社は8月29日（木）より道内3店舗で店舗近郊の小学校・幼稚園・保育園に通うお子さまを対象に、5ADAY（ファイブ・ア・デイ）「食育体験ツアー」、「たべるのおはなし教室」を実施致しました。これは農林水産省の食育事業の一環として実施されているものであり、スーパーマーケットを「教室」とし、実物の食材に触れながら、バランスの良い食生活、不足しがちな野菜・果物摂取の大切さについて楽しく学べる参加型食育体験学習プログラムです。近年、食生活は多様化し、偏食や欠食といった食生活の乱れが多くなるなか、食育活動は必要性を増していくものと考えます。当社では今後も地域の子供たちやお客さまの健康のために、地域のお客さまに一番身近なお店として、「食」に関わる様々な情報提供や活動を積極的に進めてまいります。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会　　毎年2月末日 期末配当金　　毎年2月末日 中間配当金　　毎年8月31日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168－0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031
（インターネットホームページURL）	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html

木を植えています
私たちはイオンです

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
FSC
www.fsc.org